

独立行政法人日本貿易保険 決算報告書

(2014年4月1日から2015年3月31日まで)

(単位:百万円)

区分	予算額(A)	決算額(B)	差額(B-A)	備考
収入				
業務収入	17,866	23,157	5,291	
正味収入保険料	11,621	17,240	5,619	(注1)
正味回収金	2,000	268	△ 1,732	(注2)
受取利息	4,245	5,344	1,099	(注3)
その他業務収入	-	305	305	
被出資財産からの回収金	7,695	15,201	7,506	(注4)
有価証券の償還等	19,737	31,499	11,762	(注5)
短期借入金	-	-	-	
前年度繰越金	9,101	9,101	0	
計	54,399	78,959	24,559	
支出				
業務支出	25,390	5,045	△ 20,345	
正味支払保険金	19,544	287	△ 19,257	(注6)
人件費	1,247	1,398	151	
国庫納付金	-	-	-	
その他業務支出	4,599	3,360	△ 1,239	(注7)
投資支出	1,094	736	△ 358	
システム開発費	1,024	706	△ 318	(注8)
その他投資支出	70	30	△ 40	
有価証券の取得	-	27,500	27,500	(注5)
短期借入金返済	-	-	-	
その他の支出	-	0	0	
翌年度繰越金	27,915	47,494	19,578	
予算差異	-	△ 1,816	△ 1,816	
計	54,399	78,959	24,559	

(注)金額は、百万円未満の端数を四捨五入して表示しております。

【予算額との差額の主な要因は、以下の通りです。】

- (注1) 当初予定を上回る保険契約高となったことから、予算額を大幅に上回りました。
- (注2) 支払保険金が少なかった事等により、予算額を大幅に下回りました。
- (注3) 保有有価証券残高が増えたことから、予算額を上回りました。
- (注4) 回収金から被保険者に配分する利息が減ったことから、予算額を大幅に上回りました。
- (注5) 国庫短期証券の買い入れ等により、有価証券の取得及び償還等の額は予算額を大幅に上回りました。
- (注6) 保険事故が少なかったことから、予算額を大幅に下回りました。
- (注7) 事業費及び一般管理費の減少を図り、その他業務支出は予算額を下回りました。
- (注8) システム開発案件及びIT環境整備案件の精査等により、予算額を大幅に下回りました。